

記録集

2026年
3月発行

各事業内容詳細は
ともフェス2025
パンフレットを
参照ください

「すべての人がともに生きる」を実現するには、子どもから高齢者までが自分らしさを表現しつつ、違いのある他者と関係を築くことが大切です。

ともフェス2025は「ちがっていいからこそ一緒に生きていく」をテーマに、理解と尊重が広がる交流と気づきの場を目的としたフェスティバルです。

すべての人がともに生きるフェスティバル



12月7日 (日)

10:00~17:00

関戸公民館

(ヴィータ・コミュニェ7・8階)

～ちがっていい だからこそ一緒に 生きていく～

2025年度のともフェスでは8つの企画を実施しました。各企画において目指したのは、「知識」や「楽しさ」といった、参加者の皆様にとって良いと思えるものや体験を一緒に作ることでした。

今回のテーマ「ちがっていい だからこそ一緒に 生きていく」を実現するためのイベントとして、多くの立場の方と有意義な時間を共有できました。次回に向けてさらに視野を広げた取り組みに繋がっていくことを期待しています。

ともフェスが今後も、参加者・実行委員・関係者すべての方の違いを受け止めた上で一緒に作り上げていくイベントであり続けるようにするため、本記録集を作成しました。

来年度以降も、ともフェスをよろしくお願いいたします。

多摩市男女平等参画推進フェスティバル2025実行委員会 委員長 泉篤志

主催 多摩市男女平等参画推進フェスティバル2025実行委員会

共催・事務局

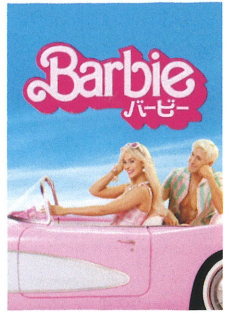
TAMA女性センター

TEL : 042(355)2110/ FAX : 042(339)0491

ヴィータホール

映画

10:00~12:10 『バービー』 日本語吹き替え版



報告 映画『バービー』は、「男らしさ/女らしさ」などの固定観念を、ユーモアと鮮やかな映像表現で問い直す作品です。男女平等参画を自分事として考えるきっかけにさせていただき狙いで上映し、世代を超えた来場が見られました。アンケートでは、作品のメッセージ性や表現の面白さに加え、鑑賞を通じて気づきや対話の糸口が得られたという反応が多く、全体として満足度の高い上映となりました。

© 2023 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

感想 (アンケートより)

- ・テーマにふさわしい映画だった。
- ・キャッチーな演出だが、楽しい内容で考えさせられた。
- ・観たいと思っていた映画が上映されてよかった。
- ・楽しさと悲しさと感動のある良い映画でした。

講演

13:00~14:30

『若年無業者』たちの20年間 寄り添って見えたこと

報告 NPO法人育て上げネット「結」の講師より、「若年無業者」支援20年の歩みや当事者の具体的な状況をお話いただきました。後半は「結」のお二人と元当事者が、参加者の方から質問を受けるパネルディスカッションを行いました。

全体を通して「家族が背中を押すときの言葉選び」「当事者のジェンダーによる環境の違い」といった具体的な話が出ました。アンケートでは、支援者・当事者両方の立場からの話を聞けたことを評価する声を複数いただきました。

感想 (アンケートより)

- ・当事者、支援者双方のお話を伺うことができたことで双方の視点からの理解を深めることができました。人は支え支えられていきていることを改めて感じました。とかく原因や過去をつきつめてしまいましたが、当事者の今を受け止め支援するということが大切だと思いました。
- ・様々な世代立場の人の話を聞くことができてよかった。
- ・講演とパネルディスカッションのバランスがよく、とても勉強になりました。当事者の方がお話してくれたことに、とても感動しました。いい言葉がたくさんありました。心に残りました。



講師：墓田薫氏 塚田寛子氏

(NPO法人育て上げネット「結」職員)



映画

15:00~17:00 『最高の人生の見つけ方』



報告 映画『最高の人生の見つけ方』は、余命を知った二人が「やりたいことリスト」を通して、年齢や立場の違いを越えて支え合い、自分らしい生を取り戻していく物語です。

ともフェスでは、誰もが尊重され、役割に縛られず選択できる社会を考えるきっかけとして上映しました。アンケートでは満足度も高く、「心温まる」「涙がこぼれた」といった感動の声が多く寄せられました。限られた時間の中でも他者とつながり、人生を前向きに見つめ直す姿に共感したことが、感動の背景としてうかがえました。

©2019「最高の人生の見つけ方」製作委員会

感想 (アンケートより)

- ・生き方はさまざまですが考えさせられるものがありました。とても感動しました。
- ・自分のやりたいことをやり人生のくいのないような良い最期を迎えられるといいなあと感じたよい映画でした。
- ・映画はたいへん楽しかった。涙がこぼれました。

大会議室

ワーク
ショップ

10:30~12:00

『男性』『多数派』の私たちはどうしたら良いのか？

報告 文化学園大学の菊住彰さんを講師にお招きし、参加者の皆さんと一緒に自分たちの強い立場について話し合いました。

「仕事で指示をする」「ネットが得意か」といった具体的な立場の事例が挙がり、それぞれの立場での悩みを共有しました。菊住さんからは最後に「不満を伝えてもらう等できることから始めてみましょう」とお話がありました。

感想 (アンケートより)

・司会の方の真摯なご様子、誠実さを受け取りました。一方で菊住さんの知見をもっと少し共有していただけるような構成もありだったかなあ…とも思いました。



講師：菊住彰氏
(文化学園大学 教授)



ワーク
ショップ

13:15~15:45

本当に言いたいことはなんですか？

～生きる力を育む気づきのレッスン

報告 “何度言っても聞いてもらえないセリフ”について、非暴力コミュニケーションの4つの要素(①~④)で振り返り、ワークシートに書き込みました。

まず、思い込みや決めつけのない、ありのままを「①観察」するために、からだへの意識の大切さを教わりました。普段、私たちが言葉にすることの少ない「②感情」や「③ニーズ」をいくつかある単語の中から拾い上げるという簡単な作業にすることで取り組みやすくなっていました。

選んだ「ニーズ」を満たす「④リクエスト」のセリフが、最初に書いたときは大きく変わっていることに、参加者自身が気づくことでコミュニケーションについての多くの学びを得ました。

感想 (アンケートより)

- ・親子関係や人間関係で悩んでいる方にとってもすばらしいワークショップであると思いました。
- ・もっと多くの人に知ってもらいたい、共有したい内容でした。新たな発見、視野の広がった時間でした。
- ・自分の大切にしたい思いにつながることができ、気持ちのスペースも広がりました。
- ・多くの気づきと心のゆとり、そして自己肯定感を得られました。
- ・自分の日々のありがた、物の考え方のくせを知り、見つめ、今後の過ごし方の指針となる学びがありました。



講師：西東万里さん 栗山のぞみさん
(NVC-Japanネットワーク)



第3学習室

親子

ベビトレヨガ 1回目 10:30~11:20 2回目 13:50~14:40

講師：藏光あけみ氏
(ヨガインストラクター)

報告 生後数カ月から5歳くらい迄のお子さんとママ・パパの参加で賑やかな雰囲気となりました。

リピートで参加された方だけでなく、初めてヨガ体験する人もいましたが講師の優しいリードもあり、とてもリラックスし笑顔が絶えないイベントとなりました。

感想 (アンケートより)

・どこかでベビトレヨガができないか探していたらタイミングよく見つけることができました。今回参加できて本当にうれしかったです。またやってもらえると信じています。



ギャラリー

公演

パネルシアター 1回目12:30~13:00 2回目 15:00~15:30

パフォーマー：大妻女子大学パネルシアター部

報告 パネルシアターとは「親子で楽しめる人形劇」。真っ白なパネルの上で、布のお人形たちが動き出し、一緒に歌ったり踊ったり、笑顔になれる公演です。

大妻女子大学パネルシアター部の皆様をお招きし、2回公演をしていただきました。各30分の公演時間の中で、楽しい曲を5曲以上披露していただきました。

最初は緊張気味だったお子さんたちも、最後には一緒に歌ったり踊ったり手遊びしたり、公演を楽しんでいただきました。大人も夢中になる楽しい公演でした。

感想（アンケートより）

- ・楽しかったです。(複数回答あり)
- ・パネルシアターとっても娘が楽しんでいて、来てよかったです！
- ・パネルシアターは初めてでしたが(人形劇世代なので知らなかったです)とても楽しめました。また見に行きます♪



体験

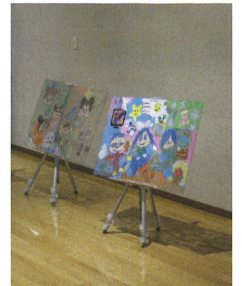
アクリル板アート 10:00~16:00



報告 不要になったアクリル板に、「キットパス」を使って自由に絵をかいてもらうイベントで、親子で一つの作品を描く家族や、熱心に描かれる高齢の方の姿も見られ、全世代に楽しめるイベントとなりました。

感想（アンケートより）

- ・去年たまたま参加したアクリル板アートが楽しかったので今年も来ました！



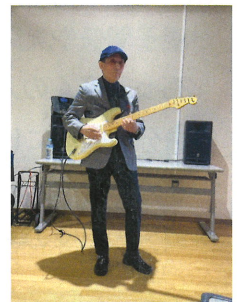
音楽

オープニング ギター演奏 10:00~10:30 演奏：小林あきら氏

報告 映画音楽から歌謡曲、童謡まで、「心地よいサウンドで歌うように」奏でる生演奏をお届けいただきました。ギャラリースペースにいらした皆さんに楽しんでいただけました。

感想（アンケートより）

- ・気軽に参加できて良かった。



実行委員会

◆2025実行委員会 会場：TAMA女性センター活動交流室

①5/14 15:00-17:00 ②6/12 19:00-21:00 ③7/10 19:00-21:00 ④8/15 19:00-21:00 ⑤9/4 19:00-21:00
⑥9/22 19:00-21:00 ⑦10/23 19:00-21:00 ⑧11/20 19:00-21:00 ⑨12/6 13:00-16:00 ⑩1/9 19:00-21:00
⑪3/17 19:00-21:00

◆12月7日（日）フェスティバル

参加者カウンター数：ヴィータホール 92人（内訳：バービー 20人/『若年無業者』たちの20年間 8人/最高の人生の見つけ方 64人）、
大会議室 15人（内訳：『男性』『多数派』の私たち 8人/本当に言いたいことはなんですか？ 7人）、
ギャラリー 66人（内訳：演奏3人、パネルシアター1回目 17人・2回目 19人、アクリル板アート 27人）、
第3学習室 24人（内訳：ペビトレヨガ午前 16人、午後 8人） 合計197人

◆実行委員

委員長 泉篤志 副委員長 高橋珠未 書記 松澤恵理 広報 野田優希菜/松澤恵理（兼任） 会計 佐藤広江/島田直広
会計監査 高橋珠未（兼任）

◆事務局 TAMA女性センター